

# Art in Hospital

患者と医療従事者に優しい病院環境をつくる

## 多摩地域の医療を支える拠点病院

⑫② ニューハート・ワタナベ国際病院 (東京都杉並区)



京王井の頭線浜田山駅近くに建つニューハート・ワタナベ国際病院

ニューハート・ワタナベ国際病院は2014年5月、心臓大血管疾患や胸部疾患を中心とした先端の高度専門治療を行う病院として開院した。

総長の渡邊剛氏は心臓外科医として世界的に有名だ。手術支援ロボット「ダヴィンチ」による心臓手術を日本で初めて実施、成功させ、現在までに200例以上のロボット手術を行っている。また、患者にとってダメージが少ないとされる心臓を動かしながら行う心臓手術も日本で初めて行い、成功させている。

渡邊氏の前職は金沢大学医学部教授。同病院

を立ち上げる際は、金沢大時代の「チームワタナベ」のベテラン医師が参集した。その結果、同病院の手術成功率は世界トップクラスの99.5%を誇る。

事業主体は医療法人社団東京医心会。理事長の河内賢二氏は渡邊氏の外科医としての技量や医療に向かう姿勢に惚れ、15年ほど前からいつか病院をつくらうと話合っていた。ビジョンに『「医療と病院」のスタイルを変えていく』と掲げているように、世界最新鋭の機器とトップクラスの技術を結集するとともに、「診断や治療過程での患者さまの苦痛軽減、治療時間や入院期間の短縮、そして気



高級ホテルを思わせる総合受付



病院を運営する東京医心会の河内理事長



患者の負担が少ない「ダヴィンチ」による心臓手術



和風やヨーロッパ風の特別室もそろえている



中国人患者から贈られた感謝の旗



会議やスタッフの研さんの場として利用されるリハビリテーション室

持ちの安らく療養環境の整備も心掛けています」と河内氏。

医療面では、一般的には6~8時間かかるといわれる冠動脈バイパス手術を、国際基準である3時間以内で行っている。また、「ダヴィンチ」を使うことで手術後3日での退院を可能にし、患者や家族の負担を軽減するだけでなく、患者の早期社会復帰を実現している。

入院療養環境では、43床(うち集中治療のための9床)全てが個室で、患者のプライバシーを守っている。豪華ホテルを思わせる特別室も用意してい

る。また、キャビンアテンダントやホテル勤務のキャリアを持つ医療コンシェルジュを配し、きめの細かいサービスも行っている。

連携のスケールも大きい。「新しい医療連携」と称し、北海道から沖縄まで医療機関とネットワークを構築、全国から患者を集めている。病院名に「国際」を冠しているように、中国、ロシア、インドネシアなど海外からも患者が訪れる。

高水準の医療とアメニティを共に提供している同病院は、日本的な「おもてなしの心」を体現している国際病院だ。